



いいからちよんを早く!

ADULT
COMICS



例によって表紙をゲレスケ化。
ちなみにこの大河はプール授業後に
下着を無くして竜児に助けを求めている
という設定。

とらドラ！即完シリーズ

「もしも竜虎が部屋でじゃれ過ぎていたら……？」



な、中はダメ
だつてばー!

すすす好きだ
なつちぎうー!

あ、あつぎん
なつてるのー!

好きー!
好きー!

好きー!
好きー!

ちゅ、ちゅ、ちゅー
しゅ、しゅ、しゅー!

ちゅ、ちゅ、ちゅー
しゅ、しゅ、しゅー!



脚ほどけつてー!
め、めちやくちや
だぞ!?

だ、だつて
だつて

竜見 好き
なんだもん
しゅ、しゅ、しゅ...

わあバカ!
ちよつとおまえー!

わっ
わっ

ちゅ
ちゅ



くそっ、こんな
だめだって

ばか、溺れちまうよ
おまえ、可愛すぎだ
大河……っ！



出るっ！
大河！ 大河！



どうしてこんな
…なんというか

だらしのないこと
になっちまったのか
というのだ——





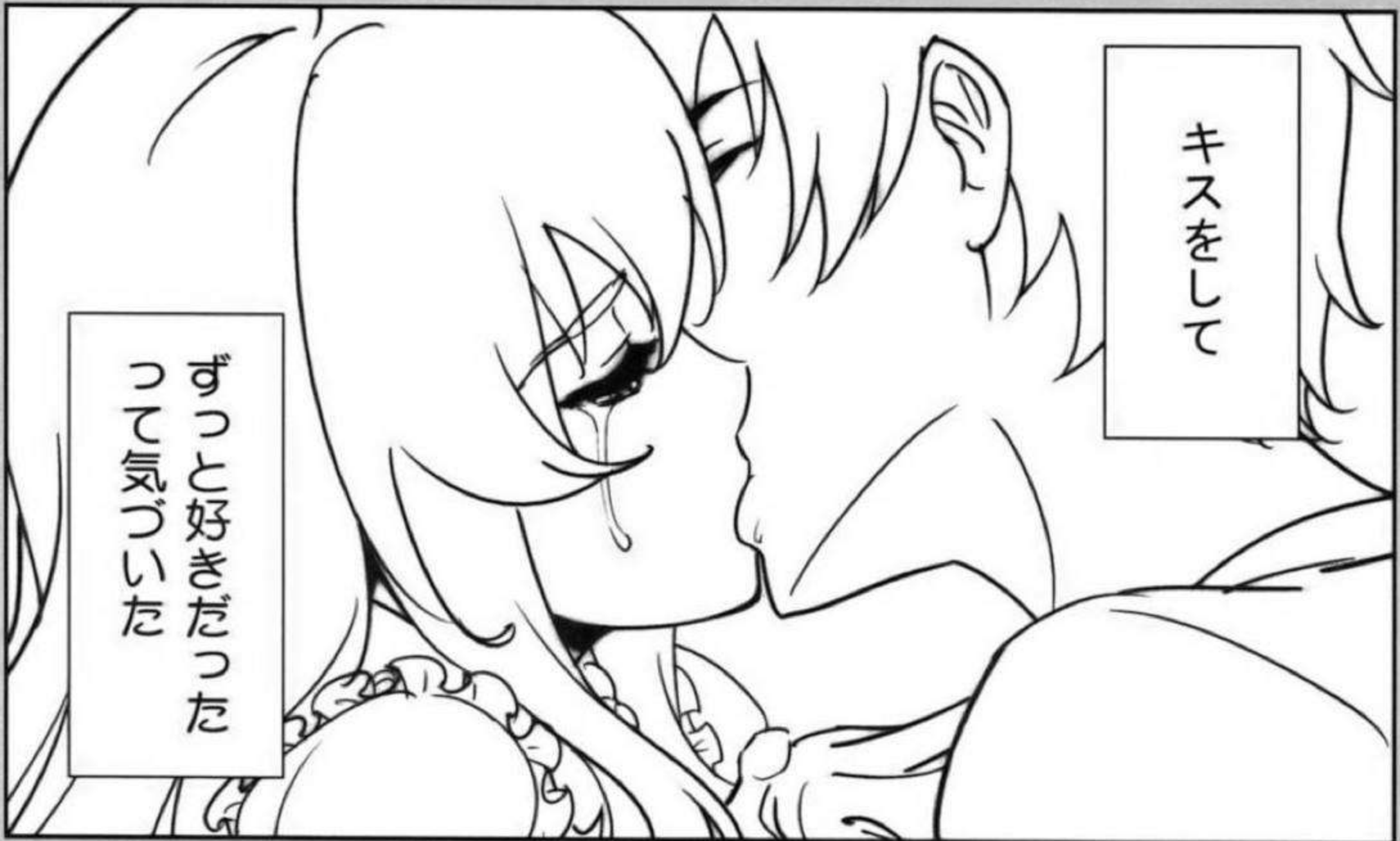
だけど



離れよごと
したの



離れようと
したんだ



キスをして

ずっと好きだった
ことがあった



そうして俺たちは

だめになったの…



ダメつつつてん
だろがい！

裏拳！？



胸はダメ！
胸はダメ！

胸はダメ
だつてば！

ダメダメ
ダメダメ

あゝ

にゅ



こ、こつち
先にして！

な
なんか
ズキズキ
する...

お

か

順番逆じや
ねえ——！？



ど、どうすりや
いいんだよ...っ？



ここも小さくて
可愛いのかな...

え？
ちよ、ま

う、ウン、
ウンでじや...



ぬ、濡れてるぞ？
大河...

う、うっさいよ？
あんま見んな！

あとあんた
顔キモい！！



なんでいきなりキスするの！

いきなり指だと痛くないか？

ゆ、指はっ？

そ…そりゃそつかもだけど…



ちゅ♡

ちゅ♡♡♡♡♡

だめっ！

だめっ！

やっぱりちゅーだめえっ！

竜児のちゅーおかしいの！す、すっこの！

びくびく♡

あーっ！あーっ！と、とけちゃっ！そっ！そっ！とけちゃっ！だ、だっこのして！



バカ、可愛い声出しやがって俺の脳が溶けるわ…

ぬるん♡

ウソ！

竜児っ！舌がっ！

な、中はだめえ！

大河？

ずきずき♡

おーい？

vech♡

あのね？フンコロバの死められてね？死ぬの気持ちヨクってね？獣姦なの……

本当にイッキに
入れた方がいいのか？
大河…？

どきどき
どきどき

いいいんだってば！
さあ、とっとと犯して
私を手込めにするがいい…

な、おまつ、
人間きの悪い！

ぬちゅ
ぬちゅ

あゝ



は、入ったぞ…
わぁて…

すげ…シマる
吸いついてくる…

痛くないか？
大河…

た、大河？

おうっ？

ま、またか…？

キュウッ

いいった？
いった？い？

痛い、けど
イッた？

キュンッ

両方じゃ
ねえかな…

イッた、けど
痛い…？





う、動くなよ大河
な、何してんだ？

や、やだ
逃げるの
イッてるまん

逃げないと
ヨクって
死んじゃうもん

ぬるるるん♡

白米 田舎 76 76 76??

だーめだ
逃がさねえぞ

あー♡

ぐっ♡

みかん♡
みかん♡

桃見の♡
みかん♡
みかん♡

逃がさない…

ず、ずきずき
あてないで！
もう！もう！

こ、こんなのもっと
好きになっちゃう！
好きになっちゃう！

りゅ、
竜児っ！

そうだ、
逃がさねえぞ

竜児っ♡

竜児っ♡♡

だ、

だめだ、
俺は…

大河…っ

大河、俺、北村から
おまえを奪いてえ…

こんな、こんな可愛い
おまえ、他の誰にも
渡したくねえ…っ！！



だって、あんだ

だめだよ、だつて

み、みのりんご…



肉欲に溺れるでないよ……

それ言ったらお互いさまじゃねえ!?

は



竜児……



だ、だからね！ 気にしちゃだめよ エッチしたとか！

大河

だから、こんなわ、私と……とか 気にしないで あ、あんだ、は……

大河

いいから、こっち向いてくれよ、大河

や、やだ、やだもん



バカ、俺を奪え 大河

りゅ、竜児……

ずっと一緒にいてやるからな、大河……

そ、そんなの だめだから！

う、嬉しくって おかしくなるんだから！

とらドラ！ 完

→次回は「もしも竜児が1巻のラストで大河が好きだと白状していたら…?」です、ご期待下さい(嘘)

エロでごめん(u・ω・)

こんにちは、とらドラ！大好き！せーぶるだか砂だか！です！
例によってクリスマス後なのでまったく余裕のないフリートークで失礼します。

というわけで竜虎のエロマンガです。描き上げた今、罪悪感でいっぱいです。どうしてもっと大河のちっぱいをちっぱくしてあげられなかったのかと！ そっちかよ!？ ちっぱいは修行中なんで出直してきます。せめて陥没乳首にできたのだけが救いです。おや？ おかしいな、ベランダの窓、閉めたはずなのに……

なんかですね、最近友人の力も借りてエロ同人誌を沢山読んでみたらですね、みんなすごい勢いで中出ししてるんですよ。いやキャラがね？ 作者さんじゃなくて。だからまあ、反省しましてね。俺も中出し描かないと！ って。でもねえ、とらドラ！で竜虎で中出しって大変なんですよ。キャラに即して描こうとすると、短いマンガにまとめるのは大変、どだい無理です。SSならいける。というわけで、より原作に忠実な竜虎ラブエロが読みたいあなた！ いい人だ！ ウチのとらドラ！ファンサイト「手乗りセーブル」に来て下さい(u・ω・)今回のマンガよりも10倍くらい甘いラブエロSSが読めますよ、ええ。あ、でも、原作に忠実なあまり中出しじゃ……ううん、なんでも？ なんでもない！ だから必ず遊びに来ること！ 来ないと処刑だから！ 誰かを！ ……いいよね、ツンデレ。

さて後半は夏のコピー本の再録です。竜児インタビューSSの合間に1Pマンガが5本。ごめんね、インタビューは再録しないとか嘘言っ。すべてを裏切る男！ スパイダーマ、いえ、砂でした。

逢坂大河さんについて

～ 高須竜児ロングインタビュー ～



精悍な顔つきでも有名な高須竜児氏
(撮影:大橋高校写真同好会)

—逢坂さんのことをどう思っていますか？

おう、よくぞ聞いてくれた。大河か？ うむ、あいつはひどい奴だ。まず口が悪い。というか罵倒の天才だ、あいつは。そんな罵り方があったかと、慣れてる俺でも驚くばかりだ。そして手も早い。というか乱暴者だ。俺もよく蹴る殴るされてマジ痛かったりするんだが、驚くべきことに本人はどうもじゃれてるつもりらしい。手加減してても元の腕っぷしが本物だから、じゃれてるなんでもんじゃねえぞ！？の威力なわけだ。マジモンの虎にじゃれられてると考えればいいと、最近気づいた。

—そこらへんは周知のことかとも思います。他には？

おう、そうか。あとはな、すげえドジだ。万事についてドジだが、そうだな、たとえば何もつまずくものが無いところで転ぶ。まあ俺の目の届く限りでは首根っこつかまえて助けてやっているから、正確には転びそうになる、だけだな。俺はこれも最近、ついにメカニズムを解明した。あいつは、歩くときにつま先から接地してその自分のつま先につまずいて転ぶんだ。わかるか？ まあ実験してみてください、感動するから、馬鹿すぎて。

あとはそうだなあ、まあ、なんてか、雑な女だ。これも万事につけてだが、たとえばまあ、片付けが出来ない。あいつの部屋はナチュラルに散らかってゆく。部屋に紙の束を置くと考える。風が吹いて、それが散らばる。その風が大河だ。宇宙の熱死が早まるとしたらあいつのせいだ。ちなみに洗濯も苦手、料理も苦手と来ている。そこでまあ、そこらへんはぜんぶ俺がやってやっているわけだ。

—ドジで雑、ですか。逢坂さんはいつも学校では毅然としているので、ちょっと意外です。

おう、毅然。いい言葉だな。なるほど、たしかにあいつ、見かけはそうだ。トイレ行く時も妙に偉そうに胸はってるしな。胸無え……あ、いや、なんでもねえ。なあ、このインタビュー、あとで俺、校正出来るよな？

—もちろんです。

おう、そうか。ならいい。

—見かけというところでは、逢坂さんの外見はどうお感じですか？

ああ、んあ？ 外見……外見か。まあ、見ての通りじゃねえか？

—いやいや、そうでなく、高須くんの印象を聞きたい。

んん……いやまあ、なんての……っそう、ちいせえよな！？ すげえ小さい。小学生みただよな。小学4年生女子の平均身長くらいだったか、そんな……え、小さいのはわかってるからいい？ 他？ 他か……ほかね

(4ページに続く)





高須くんと話をしていて感動したらしい逢坂さん。一体どんな素敵なことを言われたのか……？

……くそ、なんかな……まあ、き、綺麗だよな、あいつ。いや、ちげえよ、クリーンの方じゃねえ。ビ、ビュ、ビューティフルの方だよ……って変な英語言わせんな！？

——自分で言ったんじゃないですか。

あ、ああ、おう、そうか、すまねえ。

——外見は、綺麗で、美人。それだけですか？

おう！？ なんだそれ、食い下がるな……いやまあ、そんなもんじゃねえ？ まあ、美少女ってヤツだよ、あいつは。

——高須くんはいつもそんな素敵な逢坂さんと一緒に学校や街を歩いたりするわけですが、ご気分はどうですか？

ご、ご気分！？

——つまり、逢坂さんほどの美少女と仲良く連れ立っているわけじゃないですか。こう、たとえば、誇らしい、とか。

ほ、誇らしい！？ ああ、うん、ああ？ あ、いや、なんとなくわかったぞ。つまりあれだな？ 俺はこんな可愛い子と一緒に歩いているんだぞー、とか、そういう。

——そうそう。

あー、それはねえわ！ 考えたことも無かったから、何聞かれてるのかもわからなかった。だいいちそれって、あれだろ、美人の、か、彼女連れて歩いている野郎の心境とかだろ？ 大河違うもん。あいつとはただ一緒にいるってだけで、俺とあいつはなんでもない。

——でも可愛いな、とは思っているわけですよ？

あえ？ 可愛い？ 俺そんなこと言ってねえぞ？ え、言った？ マジか！？ ちょっと……おう、証拠？ まき戻しか……あ、おう、言ってる……いやだけどこれはさ、一般論でさ。

——あとね、こんな写真もあります。

おう！？ こ、これは……。

——ええ、高須くんと逢坂さんが連れ立って商店街を歩いている時の写真です。この高須くんの表情は……。

ん、んん……な、なんだよ。

——なんというか、とても気分が良さそうですね。

あ……ああ、そうだよ。なんだよ。こりゃきつとあれだ、特売でいい肉ゲット出来た時とかで。

——まだまだこんな写真もあります。校内、校外問わず、いずれも逢坂さんと一緒に歩いている時のですが。

おう！？ こんなにか！？ おおう……なんだ、なんてか……。

——すごく優しそうに逢坂さんに微笑んでいますよね。ほとんどそうです。楽しそうで、嬉しそうで。目はこわいですけど。

うるせえよ……てか、俺、いつも、こんな顔してんのか……？

——そうですね。してますね。

ええ……っ。いや、しかし、ええ？ いや、いやあ？

(6ページに続く)



どしたの？
高須くん！

ふう…



鼻の穴を広げて
あげよう、ばかちー

やっ、やめっ！
やめてへえええええっ!?

注・亜美です



あいつ、あんなだろ？
北む…いや、彼氏できたら
ちゃんとしてくれんのかな
想像もつかねえ…

大河が？

お、おう、柳枝か
いや、大河が
ちと心配でさ



好きいっ！

ああ、俺もだ
大河……

たーいがっ！

りゅーうじっ！

★
なんで俺だ!?!
しかも裸だ!?!

わああ!?!

呼んだか高須!



大丈夫だよ、
ほら！ 私には
大河デレてるし、
見本としてさ！

おう、そうか
おまえとが
見本になるか



あーめん
昇オワヲ
キタビジッ



仕方ないなという感じが。逢坂さんに優しく微笑む高須くん。もっと決定的な写真は掲載拒否された。

これ、俺、こんな顔……。

—こんな顔、とは？

ああ、いや、だからさ。俺、自分でも見たことねえぞ、こんな顔、鏡でも。ほんとにこんな顔ばっか、してんのか？

俺、大河に。

—してます。みんな見てますよ。だからまあ、みんな「誤解」するわけです。高須くんは逢坂さんと付き合っているんだなあ、って。

ああ！なるほど、いやもう、ほんとそうだ……そうだわ……これは……この顔は……。

—この顔は？

なんだ、くそ……言えってんだな、俺に。ああそうだよ、これは、俺のこの顔は、なんだ？ 知らねえけど、なんてか、彼女に向けるとか、恋人に向けるとか、そんなのいた試しがねえから知らねえけど……だから、つまり、これは、俺のこの顔は……なにか愛しいものに向ける……そんなものがあるとしたら……そんな顔だ。うわ、キメえ！ なんだ愛しいって、自分で言ってるキモいわ！ てかショックだ。俺、こんな顔、いつも大河に……ああわかった！ だからあいつ俺のことキモいとかエロいとかばっか言うんだ！？ な？ そうだよな、これ、なあ！？

—まあまあ、落ち着いて。しょうがないじゃないですか、つまり、高須くんは逢坂さんのことを可愛いと思っているし、愛しいと感じている。だから表情に出る。これはしょうがない。

あ、んあ？ そう、だからしょうがない……いのかあ！？

うえ！？ いや、可愛い！？ 愛しい！？ いやだから、違うんだって！ マジで！ 大河とはなんでもねえんだって！ 付き合ってるねえし！？ マジで！ 信じて！

—大丈夫、それはわかっています。つまり、付き合っても、逢坂さんのことは可愛くて、愛しいわけでしょう？

あ、ああ！？ そ、そうなんのか！？ そ、それってアリか！？ てかそれって、ありうるのか！？

—どうなんでしょう。ああ、いや、落ち着いて。目すごいことになってますよ。ちょっと話、変えましょう。

ええ！？ 話変えんのか！？ いやちょっと、待ってくれよおい。落ちつかねえってこれ！ か、説明しようぜ！？ 話につきあってくれよ、マジで！ 頼むから！

—いや、つきあいますよ。でもちょっとアプローチを変えた方がいいかもしれない。きっと説明の助けになる話です。

ああ、おう、そうか……おう。んじゃあ、わかった、つきあうわ。続けてくれ。

—ええとですね……高須くんは、もし恋人が出来たとして、つまり付き合う彼女ができたとして、その彼女に

(8ページに続く)



あーあ、
なんかダル…

ダルいからって
念話はやめろ、
大河。口使えよ…



あーもうっ!
汗かいちやっ
たじゃないよ!?

逆ギレ
すんな!?



体動かすって
こう?

なんでそう
物騒だおまえは



逆に体動かした方が
いいんじゃないか?

心配の目



帰ったら寂しさが
プラスじゃーいっつ!!

放送禁止の目つき

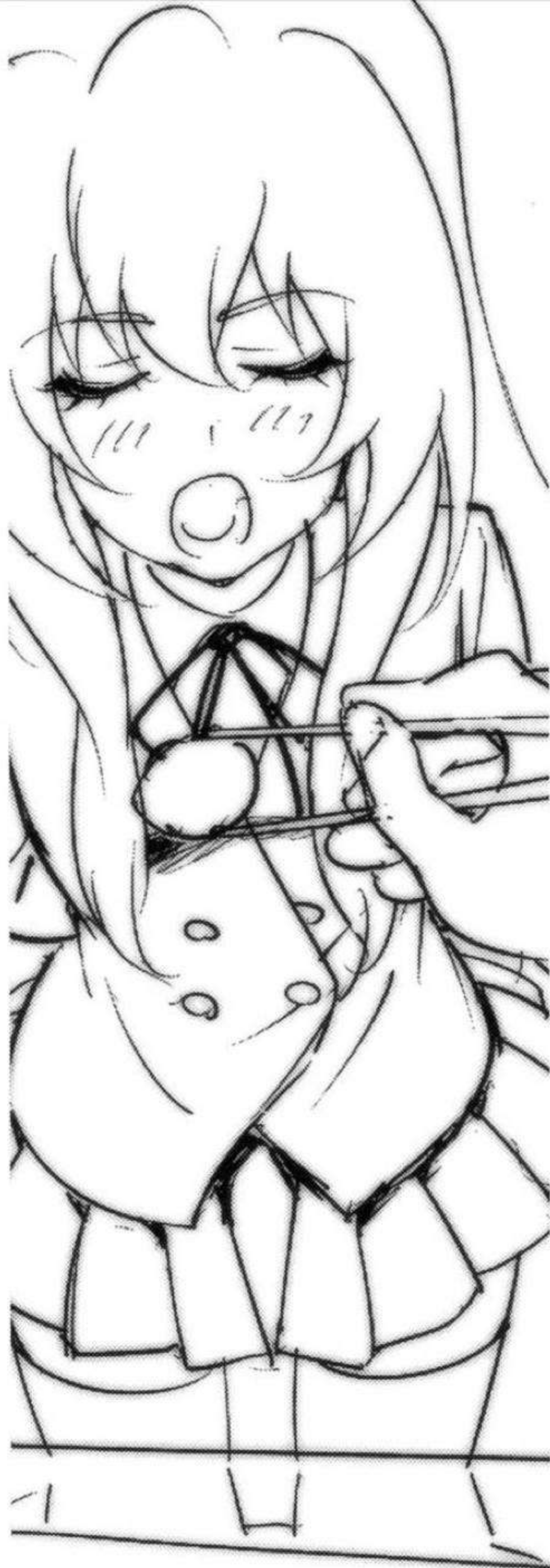
どうしろと!?



ダルさにプラスして
汗かいちやっ
たし
もーお風呂入って
寝よかな…

気を使って
いる目つき

おう? じゃあ
もう帰るか?



逢坂さんのお弁当も高須くんの手作りだそう。
これでもふたりは付き合っていないらしい…？

何をしてあげたいですか？

おお……おう、なんか、すげえ質問ゆるく感じるわ。
なんだ、彼女にしてあげたいこと？ 仮の話？

——そうです仮の話。高須くんが彼女にしてあげたいこと。

あー、なんだろうなあ。プレゼント……は、まあ、するだろうな。あとはなんだ、デートで行きたいところに連れてってやるとか……あとはなんだ……あれ？ けっこう難しいのか、これ？ なあちょっと逆に聞いていいか？ ふつう、彼氏って彼女に何するもんだ？

——そうですね。彼女のことが好きで、彼女を喜ばせたいわけでしょう、世の彼氏は。

おう、ありがたいとこまでさかのぼったな。そうだよ、それが根っこだ。それで？

——プレゼントやデートのほかだと、そうですね、たとえば、自分の特技というか、得意なものを活かして、彼女にしてみせてあげるとか。

あーなるほど！ 特技ね、得意なものね……あーしかしなんだ、俺の特技って……ねえぞ。得意なもの……ねえんだな、これも、言うほどのことは。勉強はまあ、それなりだけど、運動もまあ、わりと出来るけど、そういうんじゃねえよな……ああくそ、なんだ！？ ダメ人間か俺は！？

——いやいやいや。ミスター福男が何をおっしゃいますやら。それに、得意なものはいっぱいあるんじゃないですか？ ほら、料理とか。

あー……ああ、料理か！ それか！ 得意なもの……それか！ それも得意なものか！ なるほどね、おう、そりゃあ得意だわ俺、料理！ たぶん校内一かも知んねえ。なるほど、料理ね。そう、作るつくる！ 美味しいものいっぱい作って、彼女に食べさせるわけだ！ そして喜んでもらう！ う、あー、よ、喜ぶよなあ……？

——喜ぶますよ、それは。

おう、そうか！ よかった。彼女出来たらまず料理で喜ばせる、これだな俺は。よし！ あとは……てことは、なんだ、俺、洗濯とか掃除とか整頓とか、そこらへんもわりとやれる方なんだけど、それもアリか？ 得意なことになるか？

——なるでしょうね。

ええと、じゃあ、彼女の家に行って……んん？ なんだ、掃除洗濯？ なんかちょっと、おかしくねえ？

——たしかに……じゃあほら、一緒に暮らしているとして。

おう、い、一緒に暮らすのか！？ 暮らすか、そうか、そうだな、いずれは……そうだな。なるほど。彼女って……そうか、そういう次元もあるか。よし！ じゃあそれならイケるわ。彼女があれだな、掃除洗濯とか苦手とか、しんどい時とか、俺が腕をみせてやるわけだ。なるほど！

(10ページに続く)



だから何が?

なんか出来そう
なんだけどねえ
アハハ……!



おう?

何してんの?
みのりん

あ、やあやあ
おふたりさん!



来た

む

来たかも?



許せーんっっ!!

俺え!?

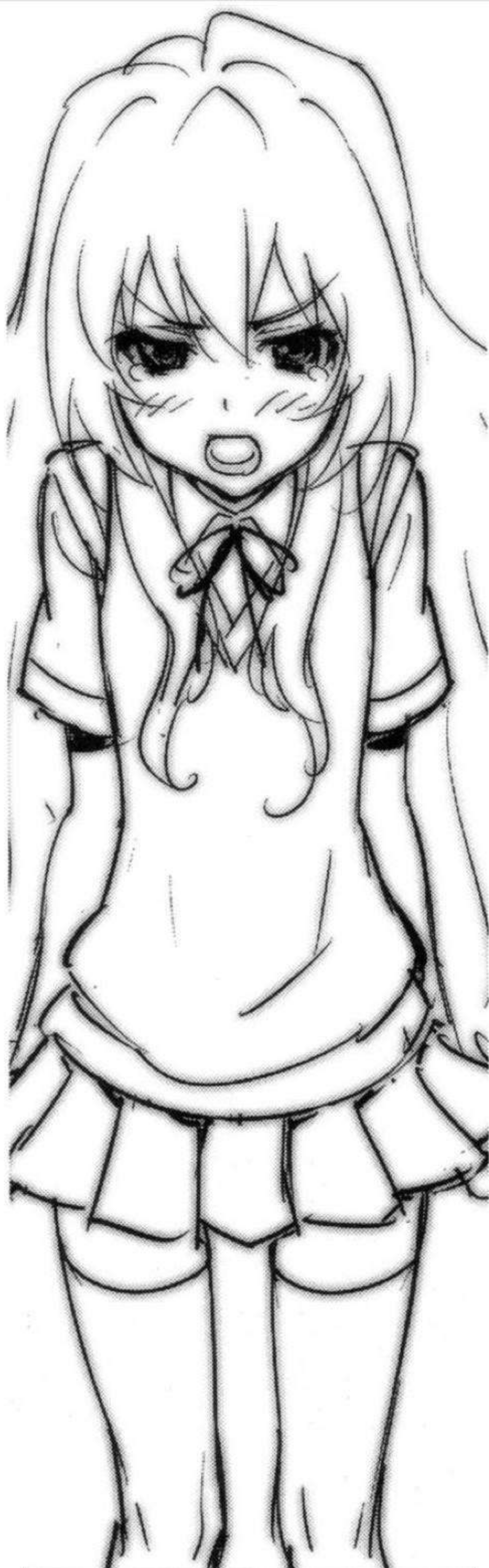


かーみーかーぜー
神風のー!...

うぎゃり!?

術ーっ!

クマ
さん!?



実はかなりの泣き虫だという話もある逢坂さん。
高須くんの前でしか泣かないということは…？

それで彼女は喜ぶ！……ん、だよな？

——喜ぶでしょうね。そういうことが得意な男子はまだまだ貴重でしょうから。

おう、そうか。き、貴重か。う、嬉しいな、なんか。え？

他には？ ほか……いやあ、うん、まあ、そんなもんじゃねえかなあ……。

——じゃあちょっと逆に、彼女がなにかで困っている時とかは？

そりゃ助けるよもちろん！ なんだってしてやるよ、俺に出来ることは……てか、いや、出来ねえことでもなんとかしようとする。うん……どうも意外と俺、そういうヤツらしいしな。あ、いや、なんでもねえ。

——彼女が危ない目にあったりしたら？

俺の身にかえても守るよ。カッコいいじゃねえよ。だって俺、その、あー、そいつのこと、大好きなんだろ？ 当然じゃねえか？ てかそもそも、危ない目にあわせねえよ、事前に。目を光らせて。いや、いつも光ってるのとは違うぞ？

——わかってますよ。あとは、彼女が悲しんでいたり、落ち込んでいたりしたら？

なぐさめるだろ、もちろん。あー、でも、あれか、俺が原因ってこともありうるか。いやしかし、たとえそれでも、なんとかする……うん、あきらめねえ。元気出るまで、俺が原因なら俺をぶんなぐってでも、なんとかする。元気づける。笑ってくれるまでな。

——彼女が寂しそうにしてたら？

寂しくなんかさせねえよ！ 俺の彼女なんだろ？ 俺がいるんだろ？ あー、でも、寂しく……いや、まあそりゃあ、どうにもならない都合もあるだろうさ。けれどな、基本、俺はずっとそいつの傍にいてやるつもりだ。ずっと、一緒にいてやるつもりだ。

——なるほど……なるほど。

うん、まあ、そんなもんだ。そんなもんかな？ あとはなんか、ねえか？ 質問上手いな、あんた。そういう感じならいくらでも答えられる気するわ。

——いや、こんなもんでしょう。それじゃあ高須くん、今日はどうもありがとうございました。

おう、いや、こちらこそ……って、ええ？ 終わりか？

これで？ いいのか……っていくねえよ！？ 解明！

ほら、例の、さっきの、あれ。あれの話しようぜ？

——あれの話？

だからほら、あれだよ、あの、俺が、なんだ？ だからさ、大河と付き合っただけで、なんだほら、か、可愛いとか、い、いい、愛しいだか……？

——ああ、そうでした。いやでも、気づいてませんか？

……はあ？ あ、いや、失礼。いや、でも、なんだ、気づく？

——今、高須くんが彼女にしてあげたいことをいろいろ

(12ページに続く)

気づいたけど
遅すぎたの……

竜児のことが
好きなんだって

竜児、部屋に
いない……

窓の外に、
世界の中心を
感じるなんて

駄目、なのに
無駄、なのに

ちゅ♡

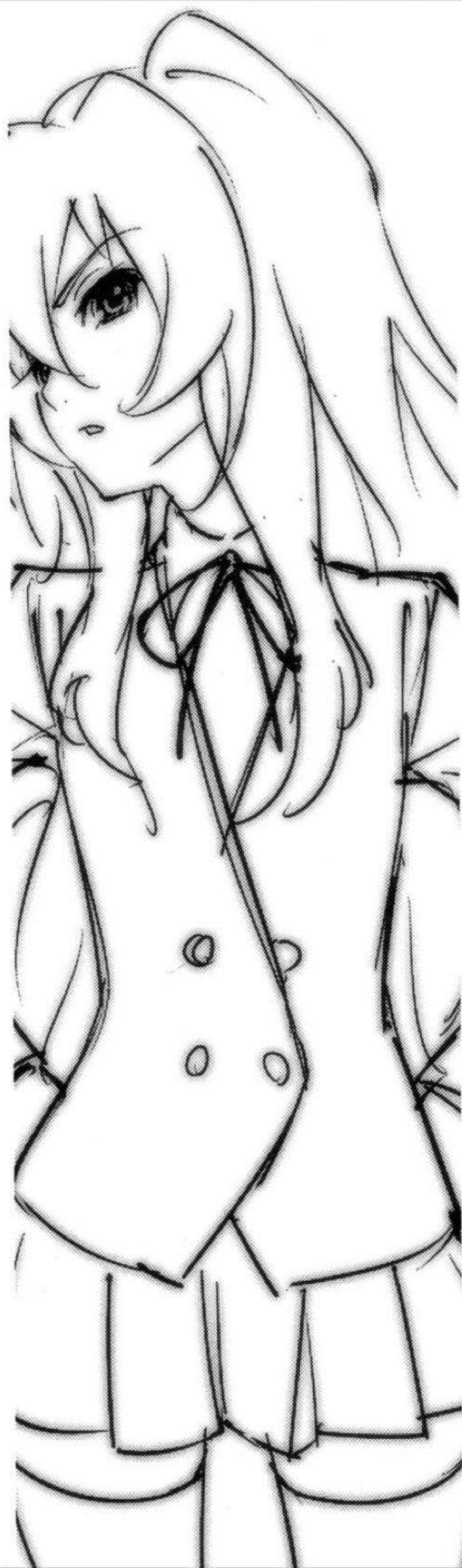
いけない遊び
意味のない――

おうっ、大河！
窓拭きか？
えらいぞ！

おまえでもそれ
顔近づけすぎ
油つくぞ？

とつとつと
消えろや!?

なんで!?



聞きましたよね。

おう。彼女がいたら、って話だけだな。
——で、逢坂さんとは付き合っていない。

おう、そうだよ。
——でも、高須くんは彼女にしてあげたいことを、すでにぜんぶ逢坂さんにしてあげています。

おう、そうだ……よ？ ……よおおおううっ！？
ちょっと待て、ななな、なんだって？ お、俺が、なんだって！？ 俺が、なに？ 彼女にしてやりてえことを、ぜんぶ大河に、して、いる？ いや、いやいやいや、それはねえって！……いや、そうじゃねえか、してるか。してるわ。ああ！？ なんだ！？ 彼女にしてやりたいことをぜんぶ大河……なんだ！？ なあ、それって、なんだ！？ なあ、なあなあ、どういうこった！？
——さあ……？ あ、そろそろ時間ですね。今日はどうも……

いやいやいや、待ってくれよ！ 終わらせねえよ！？
時間って、あ、やべえ、夕飯時か……ああくそやっべ！
買い物しねえと！ 青物切れてんだ。あ、いや、でも、ええ！？ お、終わりか？ 終わりなのかこれで？
——そうですね。それじゃあこれで……

ああ、いや、わかった！ 今日はこれで終わりだ、だけどさ、ちょっとあんた、次！ 次さ、今度さ、俺に時間くれよ？ ちょっと相談のってくれマジで！ 頼む！
——それじゃあ今日はどうもありがとうございました！
ええ？ いや、ありが……え？ 相談、のってくれるよな！？ アリだよな！？ いや、俺も行くけどさ、スーパー。相談！ 今度！ な、マジ、な！？ じゃ、じゃあ、じゃあ……ああもうあれだ、飯遅らせると大河こええんだよ！ あ、いや、そうだ、あいつ結構いいところもあるんだぞ？ ほんと、マジで。案外、優しかったりな。ああちくしょう、ぜんぜん言ってねえこと多いぞ？ あいつについて。いいのかほんとに！？ くっそ、ダメだ。マジ時間切れだ。じゃあ行くわ！ お疲れさん！ 今度、相談！

(××年11月某日、スドバVIPボックスにて)

おくづけ

とらドラ！SSブログ「手乗りセーブル」

<http://sandworks.blog.shinobi.jp/>

本館ブログ「SANDWORKS Lab.」

<http://sandworks.blog117.fc2.com/>

メアド:sandworks8@hotmail.com



